

日本細菌学会関東支部 平成 21 年会期 第 1 回評議員会 議事録要旨

平成 21 年 2 月 22 日

日時：平成 21 年 2 月 20 日 16:00~17:30

会場：国立感染症研究所 戸山庁舎 細菌第一部セミナー室

参加者：

山本友子, 秋庭正人, 石原和幸, 大西 真, 五ノ井透, 関崎 勉, 滝本博明, 田口晴彦, 丹生 茂,  
馬場 理, 平澤正知, 松下 秀

欠席：

小出幸夫, 水之江義充, 八木淳二

山本支部長による挨拶に続いて、評議員、幹事の自己紹介が行われ開会された。

1. 第 91 回支部総会報告 (山本 支部長)

千葉県生命の森リゾートにおいて、懇親を深めながら研究発表・討論・意見交換ができる場を目指した合宿スタイルによる関東支部総会が、平成 20 年 10 月 23 日・24 日に開催された。約 150 名の参加者があり、人的交流を含め、新しい共同研究の萌芽に繋がる活動であったことが報告された。

2. 平成 21 年~23 年会期活動方針 (山本支部長)

H21 年会期予算の枠の中で以下の 3 点に焦点をあてて活動を行っていく方針が示された。

1. 支部総会の活性化
2. 情報発信—以前の支部ニュースが持っていた機能を現ホームページに付加
3. 若手の育成

関東支部シンポジウムの開催：日本細菌学会関東支部として情報発信が必要である場合は、開催する方向が確認された。活性化委員会において検討していくこととなった。

関東支部総会の他学会との共同開催：過去に行われた例があるが、それが恒常化しなかった。今後、学術集会委員会で検討していくこととなった。

3. 各委員会の委員と委員長の設定

三委員会の編成について山本支部長より提案がなされ、以下の通りに決定した。

編集委員会

田口晴彦 (委員長)、大西 真、滝本博明、丹生 茂、馬場 理

#### 活性化委員会

石原和幸（委員長）、小出 幸夫、関崎 勉、松下 秀

#### 学術集会委員会

水之江義充（委員長）、秋葉正人、五ノ井透、八木淳二、平澤正知

幹事 高屋明子

幹事代行 大西 真

#### 4. ホームページの活用と維持・管理

情報発信、新規会員の紹介等の交流の場になるように発展させていくために編集委員会で検討していく。楨村前評議員と現状のホームページの引き継ぎを行うこととなった。

#### 5. 関東支部メイリングリスト

関東支部会員メイリングリストの作成・活用を検討することとなった。

#### 6. 学術集会・研究会・若手研究者支援等

若手が主催する研究会を支援する方向で活動をしていく方針が山本支部長から示された。活性化委員会で詳細は検討していくこととなった。計画書、報告書等のフォーマットを作成し、公募し、活性化委員会の推薦を受けて、評議員会で決定することとなった。

#### 7. その他

・ 第 92 回支部総会準備状況に関しては、第 92 回岡村登支部総会長（東京医科歯科大学）より報告を戴き各評議員に e-mail にて連絡する予定である旨、報告された。

・ 6 月下旬に次回評議員会を開催する。その際には、第 94 回支部総会長を決定する予定である。